

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和5年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
池田市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援することを目的とする。 ○補助対象者:ハッピークラブ特定非営利活動法人	箇所数1カ所、利用者数2,817人、延開所日数157日 利用者数・開所日数ともに目標を達成したため。	◎	要介護認定非該当の利用登録者100%の割合(年度当初の利用登録者数60人)を目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築を図る。	街かどデイハウス事業は、高齢者の健康維持や生きがい・居場所づくりの役割を担っており、今後も在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉の福祉活動所点としての存在意義を高めていく。	3,591,920		高齢・福祉総務課
泉大津市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体である市内2カ所の街かどデイハウスに対し、運営補助を行う。	箇所数:2カ所 活動日数:538日 延べ利用者数:5,267人 街かどデイサービスの運営者の高齢化によって、高齢者の活動量が以前ほどの勢いが見られない。	△	利用登録者について、基本的に要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。	高齢化する運営者だから見える高齢者の課題を、的確に対応しているため、日ごろから街かどデイハウスに通う高齢者が多いと考える。	11,824,537		保険福祉部 高齢介護課
茨木市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、街かどデイハウス事業に対し、市が補助金を交付する。また、介護保険制度下で自立(非該当)と判断される高齢者に対して、住民参加による柔軟できめ細やかな介護予防及び地域支え合いに資するサービスを提供することで、高齢者の住み慣れた地域での自立生活の維持や閉じこもり防止の効果が期待できる。	箇所数:1箇所 延利用人数:2,242人 延開所日数:149日 事業所が季節ごとのイベントを開催する等、新しい取り組みをした結果、参加者が大きく増加した。	◎	要介護認定における非該当継続率を利用登録者のうち95%以上とすることを旨とし、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築に繋げる。	引き続き感染症の予防対策を行いつつ、地域の高齢者が安心して利用できるよう支援を行う。	3,613,155		健康医療部 長寿介護課
富田林市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援する。	箇所数:2箇所、延利用者数:2,544人、活動日数:313日 新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、市民の活動再開の傾向が強くなったためか参加者数が増え、目標と同程度、または若干上回る実績値となった。	○	利用登録者の自立継続率100%	アフターコロナの介護予防の取り組みとして、街かどデイハウスが地域における身近な介護予防拠点及び集いの場として、高齢者自身のセルフマネジメント及び活動継続の支援拠点となっている。今後は更に、他の介護予防事業や介護保険制度との連携を図りながら事業を継続する。	5,602,794		健康推進部 高齢介護課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和5年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
大東市	お茶のみ休憩所運営事業	社会福祉協議会が事業主体となり実施する「お茶のみ休憩所」に対して家賃・光熱水費等の運営に係る費用を補助するもの。「お茶のみ休憩所」は「気軽にふらっと寄り合える場」として、閉じこもり予防・介護予防の地域拠点となることを目的に実施される。内容は介護予防体操・茶話会・相談事業・福祉情報の提供・軽度認知症者の一時預かり・調理実習等。特長は当該地域の自治会や民生委員、介護者家族の会等で組織される運営委員会が運営主体となり地域の実情に合った創意工夫により運営が行われること。	開所日数:週2日、年間101日	◎	○閉じこもり予防 ○介護予防 ○仲間づくり ○家族介護者のレスパイト	(1)お茶のみ休憩所の月平均利用者は17.6名である。世話人や利用者同士の会話を通して、心の支えになっている利用者も多く、孤独感の解消を図る場として確立してきている。 (2)自宅から休憩所まで徒歩で来られる利用者も多く、閉じこもり防止や健康保持・介護予防を図るうえで大きな役割を担っている。	460,000	<a href="https://syakyo-daito.jp/consultation#anc08">https://syakyo-daito.jp/consultation#anc08</a>	福祉・子ども部 福祉政策課
和泉市	街かどデイハウス支援事業	本事業は、地域の身近な既存施設を活用して、介護保険制度下で自立と判定された高齢者等に対する介護予防を図りつつ、地域で高齢者の自立生活を支えられるよう住民参加による柔軟できめ細かなサービスを提供する団体を支援し、高齢者の多様なニーズに応えられる基盤整備を図ります。本市内に街かどデイハウスは7ヶ所あります。	箇所数:7か所 延利用者数:8,785人 延開所日数:1,194日 6月末で廃止した事業所があり、延利用者数及び延利用者数が目標値に届かなかった。	△	利用登録者のうち80%(非該当を継続する人数116人/年度当初の利用登録者145人)で要介護認定の非該当を継続することを目指す。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を継続する。	令和5年度は年度途中に事業所を廃止している所や、5か月しか運営基準に満たない所があった。新規利用者の獲得や要介護認定の非該当を維持できた人においては本事業が在宅高齢者の介護予防に重点を置いた地域福祉活動の拠点として一定の役割が果たしているものと評価する。各施設でスタッフ、利用者共に高齢化しているが協力し、健康を維持し活動を継続している。引き続き高齢者が元気で地域での生活を継続できるよう本事業の継続は重要であると考え。	22,668,655	<a href="https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeevent/koureiha_kaigo/kaigovobou/1330598960127.html">https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeevent/koureiha_kaigo/kaigovobou/1330598960127.html</a>	福祉部 高齢介護室
箕面市	いきいき安心ネットワーク事業	独居高齢者世帯等に緊急通報システムを設置する。	(年間延べ件数)6,369件 達成率 94%	○	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・令和4年度の救急出動回数176回、救急搬送回数27回	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・令和5年度の救急出動回数233回、救急搬送回数42回	4,940,177	<a href="https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/iosirase/zaitakuservie.html#kinnkyyutuuhou">https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/iosirase/zaitakuservie.html#kinnkyyutuuhou</a>	健康福祉部 高齢福祉室
羽曳野市	街かどデイハウス支援事業	介護保険制度下で自立と判断される高齢者に対して、住民参加によるきめ細やかな介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、社会的孤立感の解消、心身機能の低下を防ぎ、要支援者・要介護者となるのを予防する。また、地域の福祉活動の拠点として高齢者の見守りや地域住民との交流を行うことにより地域の連携強化が図られる。新型コロナウイルスの影響で休館し、地域住民の交流、集う場が必要とのことで早期再開が望まれた。このことでより一層地域におけるニーズが高まった。	箇所数:2か所 延利用者数:4215人、開所日数:301日	○	在宅高齢者の介護予防及び自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。	水中ウォーキングや脳トレ、歌唱、読書会などそれぞれの街かどデイハウスの特色を生かし、運動器の機能向上や認知症予防といった介護予防につながる取り組みが行われた。また要介護(要支援)状態とならない取組みとして、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築に寄与できた。令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行したが、依然人が集まる場所への外出を控える高齢者も多い。活動についてもより多くの高齢者へ周知していくために、様々な周知方法をとっていく必要がある。	9,523,458		保健福祉部 介護予防支援室 地域包括支援課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和5年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
門真市	街かどデイハウス支援事業	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、QOLの向上、閉じこもり予防の効果がある。今後も利用者数の増大を目指すとともに、利用者の更なる健康増進を図ることを目的とする。 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネット、介護予防事業としての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し運営補助を行う。街かどデイハウスの数 2か所	箇所数:2箇所 延利用者数:2,729人 活動日数:280日	○	平成29年度より1箇所が介護予防・日常生活支援事業総合事業へ移行したため、現在は2箇所である。在宅高齢者の自立支援、介護予防の推進のための地域における身近な介護予防拠点の構築。利用者が地域において自立した生活を維持し、要介護(要支援)状態とならないよう活動を行う自立の継続率93%(非該当の利用登録者数166人/年度当初の利用登録者数178人)を維持する。	前年に比べ、利用者が229人増加、活動日も20日の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限が緩和されて1年が経過し、コロナ前の状況に戻ってきたと考えられる。新型コロナウイルス感染症はなくなった訳ではないため、withコロナを見据え、各施設で感染症対策がしっかりとできているからこそ、利用者が安心して活動が継続できている点も評価に値すると思われる。 今後も街かどデイハウスを活用し、地域における身近な介護予防拠点として、高齢者の自立支援・介護予防の推進を図り、高齢者の外出機会の創出・増加に努める。	4,438,183		保健福祉部 高齢福祉課
門真市	高齢者の健康づくり推進事業	門真市の健康寿命は、男性が府内42位、女性が最下位となっている。これまで高齢福祉課及びびくすのき広域連合で実施している健康づくり・介護予防施策に加え、地域貢献に意欲がある健康関連等の民間企業・団体がもつノウハウ等を活用し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。 健康に関するイベントやスポーツ活動や運動の機会の提供における健康意識の啓発等を公民協働で行う活動を行う。	ウォークラリー1回実施	○	令和4年度にスタンプラリーを開催。市内郵便局(13局)をめぐる健康づくりスタンプラリーで、達成者には記念品を渡した。	1ヶ月間にわたり、ウォークラリーを実施。達成者には表彰状を作成した。同時に認知症への理解を深めるため、ウォークラリーの際に認証に関するクイズを配置し、高齢者の健康づくり及び認知症への理解を深める相乗効果を得た。	4,208		保健福祉部 高齢福祉課
門真市	高齢者の見守りネットワーク事業	本格的な超高齢社会を迎える中で、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への見守り活動は、ますます重要になってきている。協力企業や団体等にステッカーを配布し、本事業の認知が広がることにより地域全体での見守り機運を高めることで、より広範な見守りを行い、支援が必要な高齢者を早期に発見し、支援につなげることにより住み慣れた地域において誰もが安心して暮らし続けられる社会を実現する。	新規2団体 目標は達成しなかったが毎年締結する団体が増えている。	○	令和4年度 通報件数 1件	見守り協定は2団体と締結。いずれも企業から問い合わせがあり締結した。今後も締結団体を増やすため協定の周知なども実施する。	59,675		保健福祉部 高齢福祉課
門真市	高齢者の健康づくり推進事業 (ICTの環境整備)	新型コロナウイルスの影響により、高齢者が一層人との交流を持たず家にひきこもりがちになり、また、運動不足となることにより、認知症や介護状態になるリスクの可能性が高まっている。そのため、施設でスマホ教室等を実施し、スマホの操作等を学んでいただくとともに、令和4年度に老人福祉センター、高齢者ふれあいセンター及び地域高齢者交流サロンをインターネットに接続できる環境を整備したことにより、高齢者が施設や自宅等で介護予防教室や講座に参加ができるようにする。	スマホ教室やインターネットを介した介護予防教室・講座の開催回数 6回  インターネットを活用したスマホ教室1回 参加者数13人 インターネットを介したタブレット健康教室5回 参加者延べ62人	○	スマホ教室やインターネットを介した介護予防教室・講座の参加者数20人	スマホ教室の実施や、民間企業と連携した健康教室を実施することができた。 施設においてパソコン等の機材が整っていない。また、参加者が自宅にWi-Fi環境が整っていないかかったり、利用するに伴う知識が不足している。 今後もスマホ教室を継続するとともに、介護予防教室・講座の開催の仕方について検討する。	233,640		保健福祉部 高齢福祉課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和5年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
高石市	街かどデイハウス事業	在宅の高齢者の介護予防を図り、地域における既存施設を活用し、住民参加による高齢者の自立生活の支援を行う特定非営利活動法人等の団体に対し、運営補助を行う。 ・街かどデイハウスの箇所数 1箇所 ・前年度延べ利用者数 1,607人	箇所数:1カ所、延利用者数:1,470人、活動日数:144日 利用者数の死亡、傷病等により延利用者数については目標数値を下回ったものの、登録者数の伸びもあり、コロナ以前より高い数値を維持している。活動日数については、目標数値を達成することができた。	△	在宅高齢者の介護予防と自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。	高齢期をいきいきと過ごすことができるようにするためには、健康づくりを市民一人ひとりが意識し、運動や食事、休養等に取り組むことが重要ですが、仲間との交流や活動の場を提供する団体を支援することにより、引き続き高齢者が地域社会の一員として充実した生活を送ることができるよう支援していく。	3,000,000		高齢・障がい福祉課
泉南市	泉南市街かどデイハウス支援事業	高齢者の介護予防を図るため、地域の既存施設を利用し、住民参加による柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援し、当該高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。 ・街かどデイハウスの数 4箇所	箇所数:4カ所 延利用者数:2314人 活動日数 615日 利用者数は目標に達せなかったものの、昨年度の延べ利用人数・活動日数共にほぼ変わりはない。施設内のサービスだけでなく、電話等による声かけなどを実施し、家に引きこもりがちな高齢者と社会のつながりを維持させるなどの取り組みを行った。	△	在宅高齢者の介護予防及び自立支援及び閉じこもり防止のための地域の福祉活動拠点の構築。利用登録者の自立の継続率100%を目指す。	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもりの防止に一定の効果あり。 ※介護認定を受けた者の中には、住宅改修のみを希望し、以後介護保険サービスは利用していない事例も複数あり。	6,720,000	<a href="https://www.city.sennan.lg.jp/kurasai/kourei/fukushi/service/1561344196136.html">https://www.city.sennan.lg.jp/kurasai/kourei/fukushi/service/1561344196136.html</a>	福祉保険部 長寿社会推進課
四條畷市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者等の自立した生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとして、四條畷市唯一の街かどデイハウス事業(街かどデイハウスさんら(四條畷市中野新町11-35))に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、運営費(活動費、光熱水費及び電話代)補助を行う。(街かどデイハウスの数 1箇所)	箇所数:1箇所 延利用者数:1,696人(開所日数201日) 年間事業計画に基づいて事業を遂行し、1日あたりの来所人数は概ね設定した目標数値を達成することができた。	○	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数32名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が32名居るが、事業取組みにより要介護状態に至るのを遅らせることを目指す。	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※要介護認定非該当の利用登録者数が38名居るが、当事業での取組みが要介護認定に至らない効果に繋がった。	1,940,917		健康福祉部 高齢福祉課
交野市	街かどデイハウス支援事業補助金	介護予防や地域の高齢者との交流の場として、また、高齢者の力を活かすことのできる場として、地域の活動拠点を整備し、下記のサービスを行います。 (1)必ず実施すべきサービス:健康チェック・給食・健康体操・筋力向上トレーニングなどの介護予防活動 (2)必要に応じて実施するサービス:趣味・創作活動 (3)利用者の希望に応じて実施するサービス:入浴 その他:街かどデイハウスの数…1箇所	実施箇所数:1箇所 延利用人数:1342人 年間活動日数:129日 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたこともあり、目標に近い利用人数であった。一方で、令和4年度は実施箇所数が2箇所だったが、令和5年度は1箇所となったことや、物価高騰等により施設側の負担が大きいことなどから、利用待機者や利用を断らざるを得ない事例が複数発生したとの報告があり、目標数値にはとどかなかった。	△	利用登録者の継続率100%で、要介護認定の非該当を継続し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点としての機能構築が図られた。	利用登録者の継続率100%で、要介護認定の非該当を継続し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点としての機能構築が図られた。	2,500,000		福祉部 高齢介護課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和5年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
島本町	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うもの。  街かどデイハウス箇所数:1箇所	1箇所 延利用者798名  令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者は減少していたが、今年度は利用者増加し地域での高齢者の自立を支えることができた。	○	要支援・要介護認定を受けていない自立の高齢者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービス提供をすることにより、在宅高齢者の自立した生活を維持し、閉じこもり防止を図る。	利用登録者の82%の方が、要介護認定を申請していない方であることから、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。今後の課題として、感染症対策を行いながら、新規の方や興味のある方などより多くの方が参加しやすいように周知する方法を検討する必要がある。また、月一回の講演会など新たな取り組みを積極的に取り入れる。	2,586,890	<a href="https://www.town.shimamoto.lg.jp/soshiki/33/8303.html">https://www.town.shimamoto.lg.jp/soshiki/33/8303.html</a>	健康福祉部 高齢介護課
島本町	ひとり暮らし高齢者等実態把握事業	住民基本台帳上、ひとり暮らしである高齢者に対し、ひとり暮らし高齢者実態把握事業の同意書を送付する。台帳の作成に同意された方の情報を行政と民生委員児童委員で保有し、日頃の見守りや安否確認に活用する。また、当該高齢者に救急医療情報キットを配付することによって、安心・安全を確保し、緊急時の迅速な救急活動に繋げることを目標とする。	204名  今年度、新たにひとり暮らしとなった方を対象に調査を実施することができた。	○	65歳以上のひとり暮らし年長者の緊急連絡先を把握することにより、日頃の見守り活動を充実させる。	今年度の調査で返答があった数は116件で返答率は51.1%であった。今後の課題としてはより多くの方に制度を理解していただくように内容の検討や多くの方に周知していく必要がある。	323,661		健康福祉部 高齢介護課
田尻町	田尻町高齢者生きがい事業	田尻町社会福祉協議会に委託して、田尻町内に居住する概ね60歳以上の高齢者の方を対象に生きがいづくり教室を開催する。生きがいづくりや健康維持、介護予防を自発的に行う高齢者を増やすこと及び、地域住民の互助社会づくりの醸成を図ることを目的として、椅子に座って行うことのできる体操や、脳トレ体操、筋トレ、レクリエーション教室等を行う。また、町内3か所の集会所にて、理学療法士が、参加者の運動能力の確認や、教室のメニュー作りを、短期集中的に行う。また、必要に応じて自宅に出向くことで、生活課題を確認し、自らのライフスタイルを持続できるよう指導する。	開催回数4月～3月:週5回×4週 のべ参加人数8,251人  高齢者の生きがいづくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とし、参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。参加者総数の60%以上の体力維持又は向上	◎	高齢者の生きがいづくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とする。参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。参加者総数の60%以上の体力維持又は向上 配置人数嘱託1名(常勤)、理学療法士1名(週3回)、定員:1回10名以上 生きがい教室補助員1名(非常勤)、生きがい教室(週3回)	高齢者の生きがいづくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とし、参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。参加者総数の60%以上の体力維持又は向上	13,021,631		民生部 高齢障がい支援課
岬町	町営住宅独居高齢者等見守り事業	月2回程度、独居高齢者が多く住む町営住宅を見守り調査員が訪問し、見守り活動を行う。	巡回員4人×月2回×12ヶ月、延べ96人で事業実施  高齢者が多く住む町営住宅を定期的に巡回し、孤独死等を未然に防ぐことが出来た。	○	高齢者が多く住む町営住宅を定期的に巡回を行い孤独死等を未然に防ぐことを目指す。	今年度は予定通り、身守り事業を実施し、孤独死等を未然に防ぐことが出来た。今後も継続し独居高齢者の安心と安全を確保していきたい。	384,000		しあわせ創造部 高齢福祉課